

# 給電機能 使用マニュアル

給電機能 対応表 (2025年3月現在発売モデル)

| カテゴリー  | 車種名          |      | AC100Vアクセサリコンセント |                             | AC外部給電システム<br>(ヴィークルパワーコネクタ) | DC外部給電システム |
|--------|--------------|------|------------------|-----------------------------|------------------------------|------------|
|        |              |      |                  | 非常時給電システム                   |                              |            |
| コンパクト  | アクア          | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | カローラ スポーツ    | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | ヤリス          | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
| セダン    | クラウン         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | FCEV |                  | ●                           |                              | ●          |
|        | カローラ         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | プリウス         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV |                  | ●                           | ●                            |            |
|        | MIRAI        | FCEV |                  | ●<br>(Z "Advanced Drive"除く) |                              | ●          |
| ワゴン    | カローラ ツーリング   | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
| ミニバン   | アルファード       | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV |                  | ●                           | ●                            | ●          |
|        | ヴェルファイア      | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV |                  | ●                           | ●                            | ●          |
|        | ノア           | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | ヴォクシー        | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | シエンタ         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
| SUV    | クラウン クロスオーバー | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | クラウン スポーツ    | PHEV |                  | ●                           | ●                            | ●          |
|        |              | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        | クラウン エステート   | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV |                  | ●                           | ●                            | ●          |
|        | RAV4         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV | ●                |                             | ●                            |            |
|        | ハリアー         | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | PHEV | ●                |                             | ●                            |            |
|        | カローラ クロス     | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
| センチュリー | センチュリー       | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | HEV  |                  | ●                           |                              |            |
|        |              | BEV  |                  | ●                           |                              | ●          |
|        |              | PHEV |                  | ●                           | ●                            |            |

■グレードおよびメーカーオプションの設定によって、給電機能が搭載されない場合があります。詳しくは各車種カタログをご覧ください。

■HEV:ハイブリッド車 ■PHEV:プラグインハイブリッド車 ■FCEV:燃料電池自動車 ■BEV:電気自動車

使用方法は下記URLから動画でもご覧いただけます。

<https://toyota.jp/kyuden/>

トヨタ自動車WEBサイト「トヨタの給電」



上記対応表に記載がない車種・モデルチェンジ前の車種にお乗りの方は、以下の流れで使用方法をご確認ください。

- 1 AC100Vアクセサリコンセントの有無を確認する >>>
- 2 非常時給電システムが起動するか確認する >>>>>>

使い方はコチラ

起動方法はコチラ

コンソール内もしくはコンソール周辺、ラゲージスペース内に右図のようなコンセントがあるか確認してください。

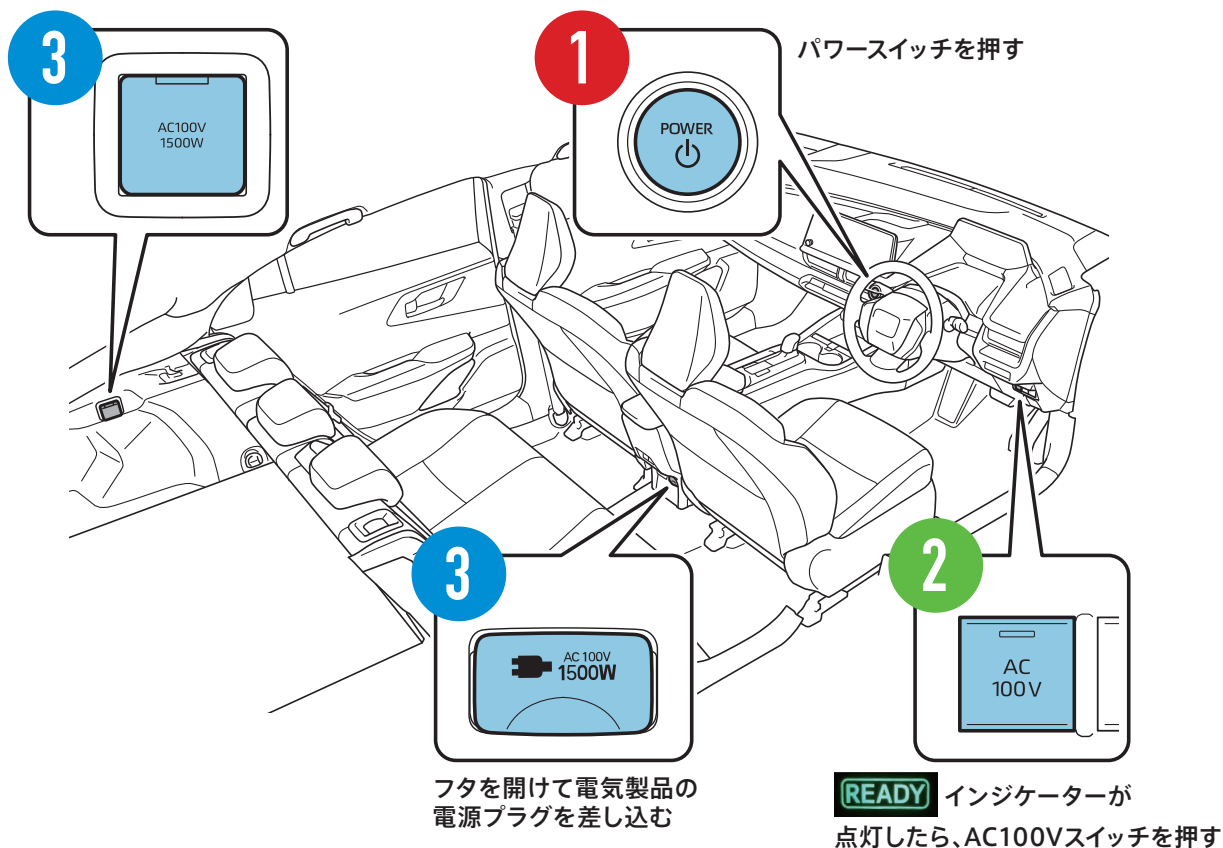


# AC100V アクセサリーコンセントの使い方

AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使うときの電源としてご使用ください。

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。

プリウスの場合



- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認し、ブレーキをしっかりと踏みながらパワースイッチを押してください。



- 2 READYインジケーターが点灯したことを確認し、AC100Vスイッチを押してください。  
作動表示灯が点灯し、使用可能な状態になります。  
AC100Vスイッチを押すたびに、コンセントのON/OFFが切り替わります。



- 3 フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。  
アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。  
※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。  
※接地極付きコンセントがない車種もあります。その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

# アクセサリコンセントを安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思わぬ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。販売店におたずねください。

## 【電源コード／配線】

■コンセントに、分岐用コンセントを複数接続しないでください。

コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらただちに使用を中止してください。

■アース線のある電気製品を使用するときは、アース線をアース端子に接続してください。

また、接地極付プラグのある電気製品を使用するときは、市販の変換アダプターを使用してアース線をアース端子に接続してください。

## 【使用する電気製品】

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が発生する可能性があります。

- 走行中の振動や、炎天下での駐車時の熱などにより、電気製品が故障する可能性
- 特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性
- 水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性

■電源プラグや、電気製品が故障しているときは使用しないでください。

■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。

■水没や浸水した、またそのおそれのある電気製品は使用しないでください。

■車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあります。

■次のような電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。

- 起動時の電力が大きい電気製品
- 取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品
- 精密なデータ処理をする計測機器
- きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品
- タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

## 【使用する電気製品の消費電力】

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。

■消費電力が大きな電気製品（ホットプレートなど）の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

## 【使用する電気製品の作動周波数】

■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

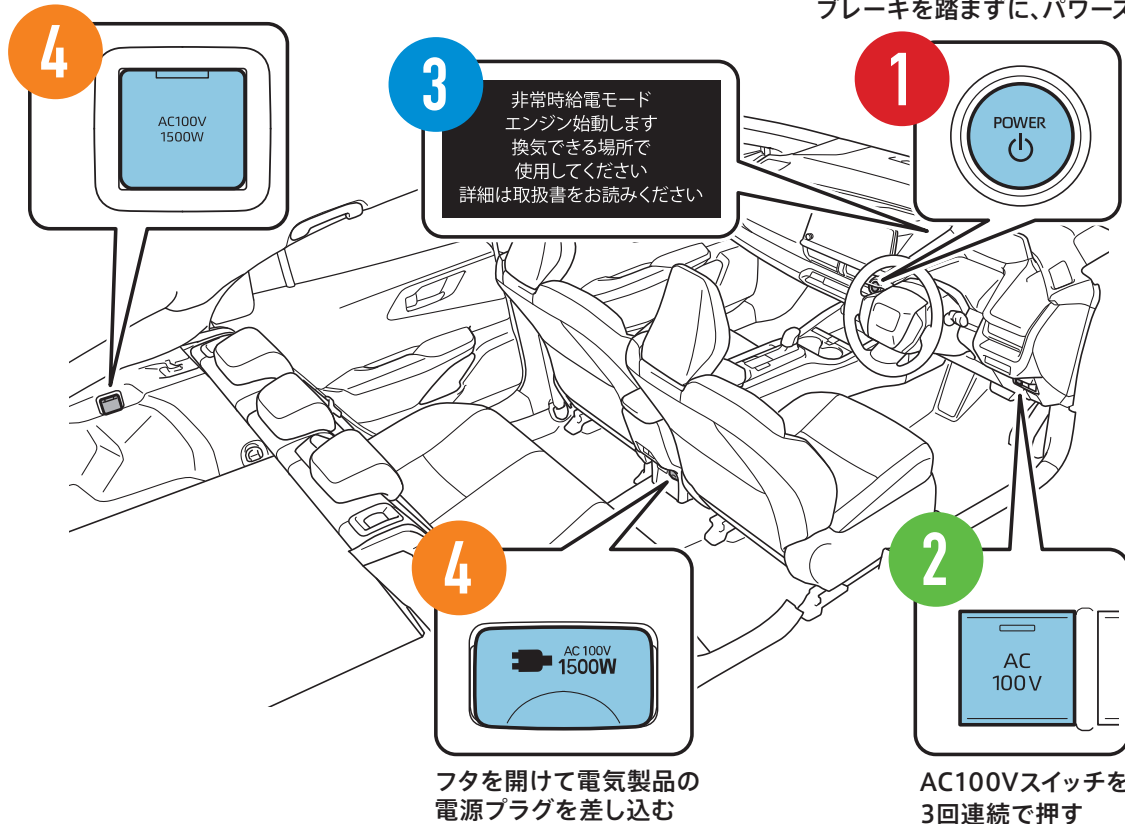
# 非常時給電システムの使い方

災害などによる非常時に電力が必要なとき、次の方法を行うことで、車両の走行機能を停止した状態で給電ができます。

プリウスの場合

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。

ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押す



1

ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押して、「イグニッションON」状態にします。

※車両によってはブレーキを踏まずにパワースイッチを1回押して、「パワーON」状態になる車両もあります。

ブレーキを踏んでいないと非常時給電システムは使用できません。

※「パワーON」と、マルチインフォメーションディスプレイに表示される車種もあります。

2

READYインジケータが点灯していないことを確認し、AC100Vスイッチを3回連続で押してください。

AC100Vスイッチを押す間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

3

マルチインフォメーションディスプレイに非常時給電モードの説明が表示されたら起動完了となります。

4

フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。

※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。※接地極付きコンセントがない車種もあります。その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

# 非常時給電システムを安全に お使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧くださいか販売店におたずねください。

## 【電源コード／配線】

■コンセントに、分岐用コンセントを複数接続しないでください。コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらただちに使用を中止してください。 ■アース線のある電気製品を使用するときは、アース線をアース端子に接続してください。また、接地極付プラグのある電気製品を使用するときは、市販の変換アダプターを使用してアース線をアース端子に接続してください。

## 【使用する電気製品】

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が発生する可能性があります。 ●走行中の振動や、炎天下での駐車時の熱などにより、電気製品が故障する可能性 ●特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性 ●水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性 ■電源プラグや、電気製品が故障しているときは使用しないでください。 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。 ■水没や浸水した、またそのおそれのある電気製品は使用しないでください。 ■車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあります。 ■次のような電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。 ●起動時の電力が大きい電気製品 ●取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品 ●タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

## 【使用する電気製品の消費電力】

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。 ■消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

## 【使用する電気製品の作動周波数】

■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

## 車外の電気製品と接続してご使用になる場合は次の項目にもご注意ください

### 【車両の安全確保】

■車外に電源コードを引き出して使用する場合は、誤って車両を発進させないようにご注意ください。 ●使用中は車両から離れないでください。 ●誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ●シフトはPポジションにして、パーキングブレーキを作動させてください。 ●地面が固く平らな場所に駐車し、できれば輪止めを設置してください。 ●スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠することはできません。 ●メカニカルキーでドアを施錠してください。(ワイヤレスリモコンでドアを施錠できる車両もあります。) ■落雷の可能性のある天候のときは給電を行わないでください。給電中、雷に気づいたときは給電を停止してください。 ■HEV、PHEVの場合、一部の自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させると、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。

### 【電源コード／配線】

■コードリールを使う場合、コードが発熱する可能性がありますので、コードはリールからすべて引き出してご使用ください。 ■車外に電源コードを引き出して使用する場合は、雨水の浸入などにご注意ください。コンセントに雨水が付着した場合は、乾燥させてから使用してください。 ■電源コードをドアなどに挟まないようご注意ください。

### 【換気】

■HEV、PHEVの場合、駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動する場合があります。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。 ■FCEVの場合、発電時に酸素を消費します。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。

### 【外気温が高いとき】

■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、給電機能が停止することがあります。その場合は、車両を日陰などに移動したり、エアコンを使用するなどして室内温度を下げてください。

### 【外気温が低いとき】

■特に外気温が低いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、車両を走行させるなどし、車両を暖めると使用できる可能性があります。

### 【エアコンの使用に関する警告】

■非常時給電システムの使用中は、お子さまや介護を必要とする方、ペットを車内に残さないでください。エアコンを使用しているも、システムの自動停止等により室内が高温、または低温になる場合があり、熱中症・脱水症状・低体温症になり、重大な障害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

# AC外部給電システム (ヴィークルパワーコネクター)の使い方

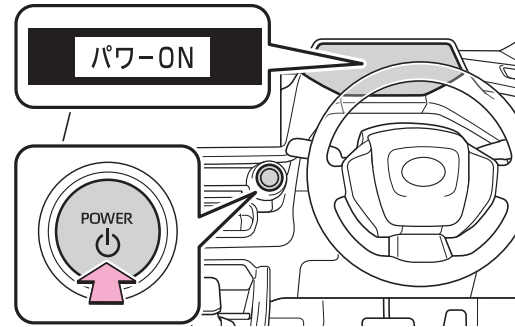
## プリウス (PHEV)

### マルチインフォメーションディスプレイでの操作の場合

※マルチメディアディスプレイでの操作も可能です。

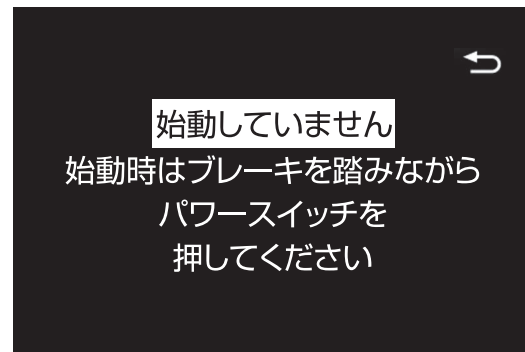
- 1 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにする。

メーターに“パワーON”と表示されていることを確認してください。  
ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動してしまい、AC外部給電システムが使用できません。  
ONにしたあとは、シフトレバーを操作しないでください。シフトポジションがPでないと、AC外部給電システムを使用できません。



- 2 始動操作に関するアドバイス画面が表示されたときは、メーター操作スイッチの⏮を押して前の画面にもどす。

一定時間、メーター操作スイッチを操作しないと、始動操作に関するアドバイス画面が再表示されます。  
その場合は、そのつど ⏮を押して前の画面にもどしてください。

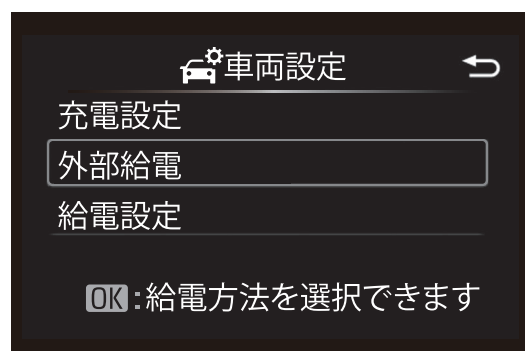


- 3 メーター操作スイッチの⏮または⏭を押して⚙️を選択する。

- 4 メーター操作スイッチの⏮または⏭を押して“⚙️車両設定”を選択し、⏹️を押し続ける。

- 5 メーター操作スイッチの⏮または⏭を押して“外部給電”を選択し、⏹️を押す。

外部給電モードの選択画面が表示されます。



6

メーター操作スイッチの  または  を押して  
ご希望の外部給電モードを選択し、 を押す。

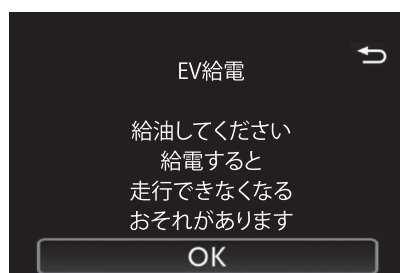
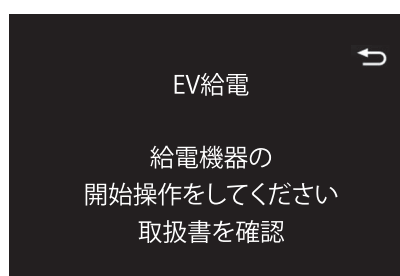
外部給電モードの選択画面上に、各モードでの外部給電可能時間の  
目安が表示されます。



#### EV給電モードを選択した場合

7

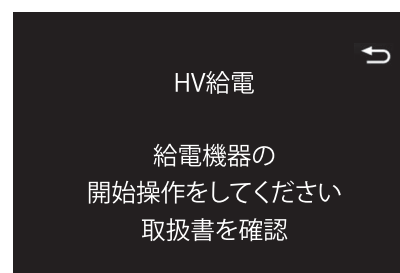
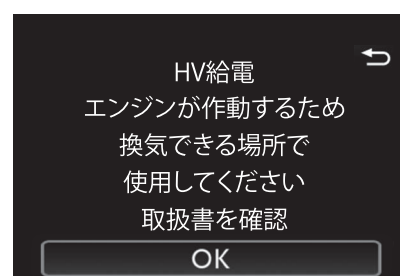
操作ガイド画面の表示に従う。



#### HV給電モードを選択した場合

7

使用上の注意に関する画面を確認して  
 を押し、操作ガイド画面の表示に従う。



8

ヴィークルパワーコネクターを用意する。

ヴィークルパワーコネクターに異常がないことを確認してください。

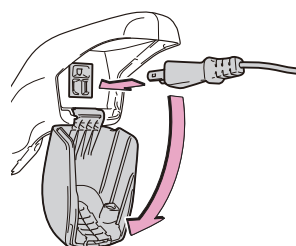


ヴィークルパワーコネクター

9

ヴィークルパワーコネクターの  
防水カバーを開け、使用する電気製品の  
電源プラグを車外コンセントに接続する。

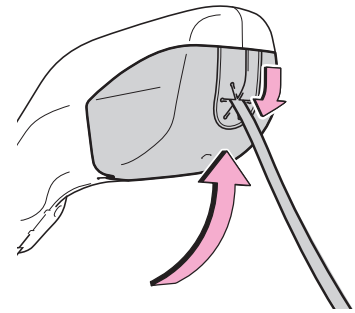
電源プラグは奥までしっかり押し込んでください。



10

防水ゴムに電源コードを通し、防水カバーを閉じる。

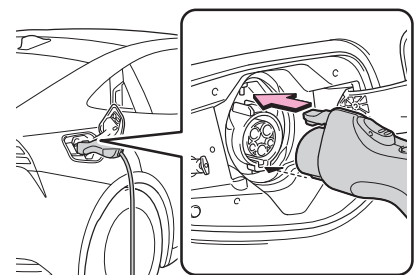
防水カバーがロックされたことを確認してください。



11

充電リッドを開け、ヴィークルパワーコネクターを普通充電インレットに接続する。

ヴィークルパワーコネクターの下側にあるガイドの位置を合わせて、まっすぐにいっぱいまで挿し込み、“カチッ”という音がして、確実にロックされたことを確認してください。

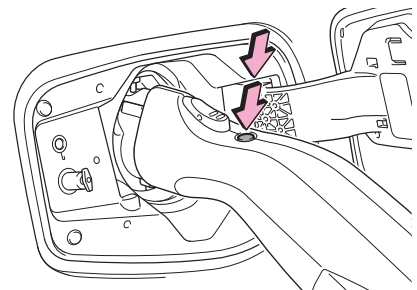


12

ヴィークルパワーコネクターの電源スイッチを2回連続で押す。

充電ポートの充電インジケータがゆっくり点滅します。

電源スイッチを2回連続で押す間隔が3秒以上空いたり、2回よりも多く押したりした場合は、充電インジケータは点滅しません。



13

充電インジケータが点灯したら、接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケータは一定時間点滅します。点滅中はAC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。AC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイの表示で、現在の外部給電状況をお知らせします。



## 2種類のモードについて

### ■ EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用してAC外部給電を行います。外部給電可能な駆動用電池の残量を下まわると、外部給電を終了します。

### ■ HV給電モード ※必ず屋外(換気の良い場所)でご使用ください。

AC外部給電中に外部給電可能な駆動用電池の残量を下まわると、エンジンが作動して外部給電を継続します。燃料残量警告灯が点灯すると、外部給電を終了します。

# AC外部給電システム (ヴィークルパワーコネクター) を安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧くださいか販売店におたずねください。

## 【電源コード／配線】

■コードリールを使う場合、コードが発熱する可能性がありますので、コードはリールからすべて引き出してご使用ください。 ■コンセントに、分岐用コンセントを複数接続しないでください。コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらただちに使用を中止してください。 ■ヴィークルパワーコネクターの端子部が濡れないようにしてください。 ■ヴィークルパワーコネクターの車外コンセントに水や液体・雪がかからないようにしてください。 ■ヴィークルパワーコネクターと普通充電インレットは、変換アダプターや延長コードなどを使用せず、必ず直接接続してください。 ■車外コンセントに電源プラグを接続した後は、防水カバーを確実にロックがかかるまで閉じてください。防水カバーがロックできないような大きな電源プラグは使用しないでください。 ■ヴィークルパワーコネクターの上に重量物を置いたり、物を引っかけたりしないでください。

## 【使用する電気製品】

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が発生する可能性があります。 ●特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性 ●水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性 ■電源プラグや、電気製品が故障しているときは使用しないでください。 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。 ■水没や浸水した、またそのおそれのある電気製品は使用しないでください。 ■車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあります。 ■次のような電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。 ●起動時の電力が大きい電気製品 ●取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品 ●タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

## 【使用する電気製品の消費電力】

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。 ■消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

## 【使用する電気製品の作動周波数】

■工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

## 【車両の安全確保】

■次のことをお守りください。 ●使用中は車両から離れないでください。 ●誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ●地面が固く平らな場所に駐車し、できれば輪止めを設置してください。 ●必要に応じて、ドアやヴィークルパワーコネクターを施錠してください。 ■落雷の可能性がある天候のときは給電を行わないでください。給電中、雷に気づいたときは給電を停止してください。 ■HV 給電モードの場合、一部の自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させると、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。

## 【換気】

■HV給電モードの場合、駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動する場合があります。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。

## 【外気温が高いとき】

■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、給電機能が停止することがあります。その場合は、車両を日陰などに移動したり、エアコンを使用するなどして室内温度を下げてください。

## 【外気温が低いとき】

■特に外気温が低いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、車両を走行させるなどし、車両を暖めると使用できる可能性があります。

## 【エアコンの使用に関する警告】

■AC外部給電システムの使用中は、お子さまや介護を必要とする方、ペットを車内に残さないでください。エアコンを使用していても、システムの自動停止等により室内が高温、または低温になる場合があり、熱中症・脱水症状・低体温症になり、重大な障害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

# DC外部給電システムの使い方

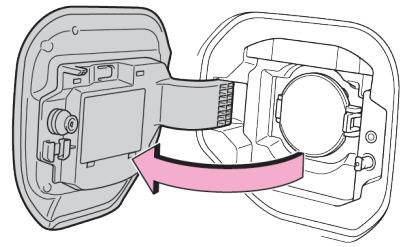


給電イメージ

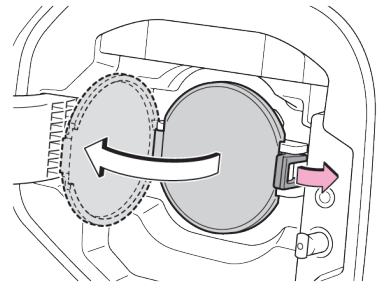
## bZ4Xの場合

### 1 車両のドアを解錠して、急速充電リッドを開ける。

急速充電リッド（車両の左側）を開けると、  
急速充電インレット照明が点灯します。

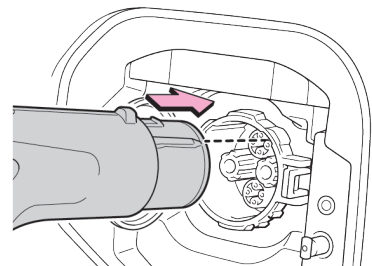


### 2 急速充電インレットキャップを開ける。



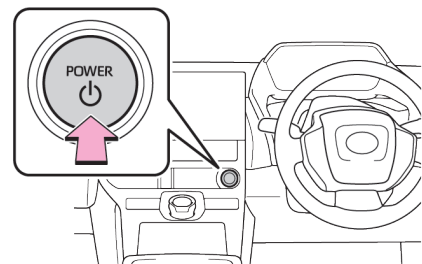
### 3 外部給電コネクタを急速充電インレットに奥まで正しく挿し込む。

外部給電コネクタの形状や取り扱い方法などは、外部給電器により異なります。外部給電器の取扱説明書に従って、作業を行ってください。



### 4 ブレーキペダルを踏まずに、パワースイッチを押してONにする。

マルチインフォメーションディスプレイに“パワーON”と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、EVシステムが始動してしまい、DC外部給電システムが使用できません。



マルチインフォメーションディスプレイまたは、マルチメディア画面で外部給電の設定が行えます。

## マルチインフォメーションディスプレイでの操作

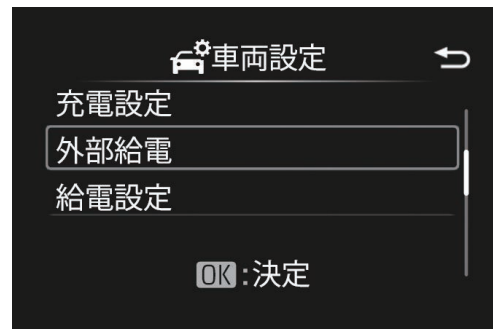
5

マルチインフォメーションディスプレイの  画面で、メーター操作スイッチの  または  を押して“車両設定”を選択し、 を長押しする。

6

メーター操作スイッチの  または  を押して“外部給電”を選択し、 を押す。

外部給電モードの選択画面が表示されます。



7

メーター操作スイッチの  または  を押して“EV給電”を選択し、 を押す。

外部給電モードの選択画面上に、給電時間の目安が表示されます。駆動用電池の残量が低下しているときは、EV給電モードを選択できません。



8

 を押す。

給電待機画面が表示されます。

9

外部給電器で開始操作をする。

外部給電器に付属の取扱説明書に従い、操作してください。

外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止することがあります。

その場合は、再度手順 ④ から開始操作を行ってください。

10

接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケータが点滅しているときはDC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。

DC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイで、現在の給電状況をお知らせします。

## マルチメディア画面での操作

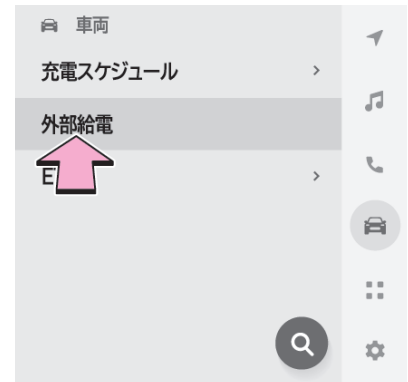
5

 を押す。

6

“外部給電”を押す。

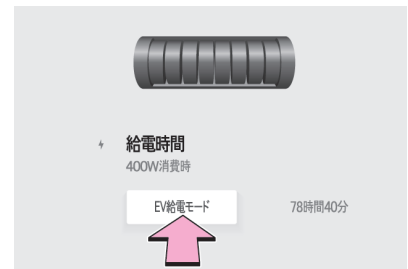
外部給電モードの選択画面が表示されます。



7

“EV給電モード”を押す。

外部給電モードの選択画面上に、給電時間の目安が表示されます。  
駆動用電池の残量が低下しているときは、EV給電を選択できません。



8

操作ガイド画面の表示に従う。

9

外部給電器で開始操作をする。

外部給電器に付属の取扱説明書に従い、操作してください。  
外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止することがあります。  
その場合は、再度手順④から開始操作を行ってください。

10

接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケータが点滅しているときはDC外部給電が開始されていないため、点灯にかわるまでお待ちください。  
DC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイで、現在の給電状況をお知らせします。

# DC外部給電システムの使い方

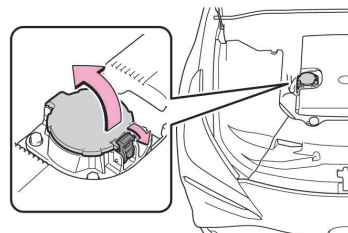


外部給電アウトレット (ボンネット下コンパートメント内)

## MIRAIの場合

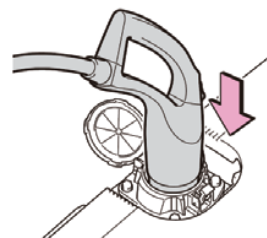
1 ボンネットを開く。

2 外部給電アウトレットのキャップを開ける。



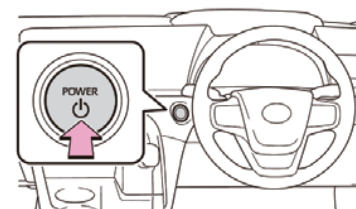
3 外部給電器の手順に従い、給電コネクターを外部給電アウトレット (ボンネット部) に挿し込む。

外部給電コネクターを挿し込むときに給電ケーブルがボデーに接触してしまうことがあります。ボデーに傷などつかないようにご注意ください。外部給電コネクターの形状や取り扱い方法などは、外部給電器のタイプにより異なります。外部給電器の取扱書に従って、作業を行ってください。



4 ブレーキペダルを踏まずに、パワースイッチを2回押してONモードにする。

メインディスプレイに“イグニッションON”と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、FCシステムが始動してしまい、DC外部給電システムが使用できません。



5 外部給電器の手順に従い、外部給電器の給電操作をする。

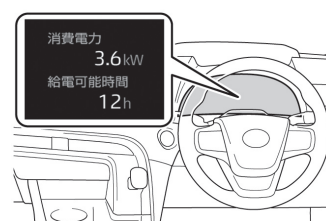
特定の外部給電器によっては、パワースイッチがOFFになり、給電が停止する場合があります。そのときは、停止から2分以上あけてから、再度②から実施してください。

6 マルチインフォメーションディスプレイに表示される使用上の注意に関する画面を確認し、メーター操作スイッチの「OK」を押す。



7 マルチインフォメーションディスプレイに給電状態が表示されます。

給電開始まで数秒かかります。  
外部給電器に接続した電気製品を操作して、使用してください。



# DC外部給電システムを 安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。か販売店におたずねください。

以下はBEVの場合の注意事項になります。

(FCEVの場合は一部異なる注意事項がございます。詳しくは車両に付属の取扱書をご確認ください。)

## [DC外部給電システムの使用中は]

■シフトポジションをPからほかのシフトポジションに切りかえることはできません。 ■外部給電器の出力上限以上の電力を使用した場合、外部給電器が出力を制限したり、給電を停止したりすることがあります。 ■車両側の定格出力以上の電力を使用した場合、車両が給電を停止することがあります。 ■スマートエントリー&スタートシステムでドアを解錠・施錠することはできません。 ■ワイヤレスリモコンでドアの解錠・施錠をすることができます。使用する電気製品から発生するノイズにより、正常に作動しない場合があります。(メカニカルキーでもドアを解錠・施錠することができます。) ■ドアの開閉などにより、ブザーが鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに「キーが見つかりません キーの所在を確認してください」と表示されたりすることがあります。 ■気温が低いときまたは高いときは、出力を制限または停止することがありますが、異常ではありません。その場合は、使用する電気製品を減らしてください。 ■走行中はDC外部給電システムを使用できません。 ■使用する電気製品によっては、周囲のテレビやラジオに雑音が入ることがあります。 ■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、システムを保護するためにDC外部給電システムが自動で停止することがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてから、車両を日陰に移動するなどして車内の温度を下げ、再度、DC外部給電を開始してください。 ■特に外気温が低いときは、駆動用電池を保護するため、DC外部給電システムを使用できないことがあります。その場合は、いったん外部給電コネクターを取りはずしてからしばらく走行するなどして、駆動用電池を暖めてから使用してください。 ■外部給電器に車両に異常があるようなメッセージ(例えば、「車両に異常が見つかりました」、「車両故障発生」など)が表示されても、車両の異常ではなく、外部給電器と車両間の通信異常である可能性があります。この場合、外部給電コネクターの端子故障(接点不良)などが考えられます。外部給電器に付属の取扱説明書を確認してください。

## [DC外部給電システムを使用する時の警告]

■傾いた場所や坂道などに止めて使用しないでください。使用中に車両を移動させたり、傾けたりしないでください。 ■誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ■可燃物や危険物を車両の近くに置かないでください。 ■給電を開始する前に、接続した電気製品の電源がOFFになっていることを確認してください。電源がONになっていると、電気製品が突然作動するおそれがあります。 ■車両をカーカバーなどで覆った状態で使用しないでください。 ■お子さまなど、不慣れな方だけで作業を行わないでください。 ■外部給電コネクターと急速充電インレットは、必ず直接接続してください。外部給電コネクターと急速充電インレットとのあいだに、変換アダプターや延長コードなどを接続しないでください。 ■落雷の可能性がある天候のときはDC外部給電システムを使用しないでください。使用中、雷に気づいたときにはDC外部給電システムを停止してください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットに異物がないか、または雪・氷が付着していないか確認してください。付着している場合は、外部給電コネクターを接続する前にしっかりと取り除いてください。 ■外部給電コネクター・急速充電インレットの端子に金属製の鋭利なもの(ピンや針金など)を挿し込まないでください。

## [DC外部給電システムがおよぼす影響について]

■植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、次のことを必ずお守りください。医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。 ●給電中は車内にとどまらない ●給電中は車内・外部給電器・ケーブルから十分に距離を明け近づかない